

問題別調査結果 [国語]

江戸川区立松江第一中学校一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

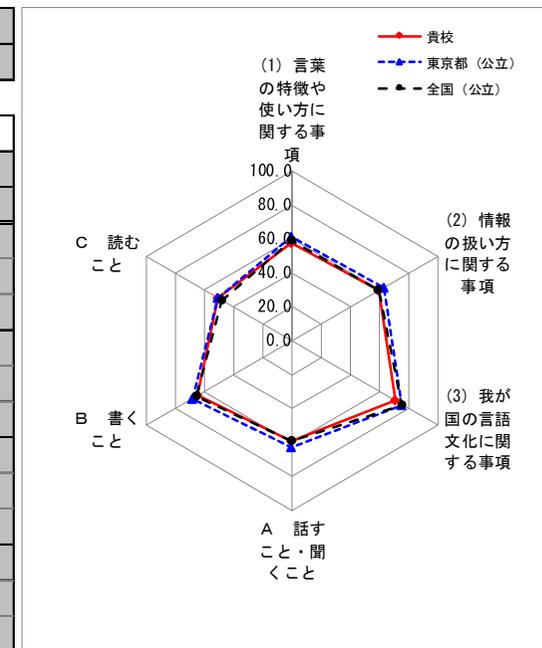
※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数	江戸川区立松江第一中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	157	70,932	875,574

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体			58	61	58.1	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	3	57.5	61.6	59.2
		(2) 情報の扱いに関する事項	2	59.6	62.9	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	70.7	75.7	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	59.2	62.9	58.8
		B 書くこと	2	64.3	67.9	65.3
		C 読むこと	4	50.3	50.8	47.9
評価の観点	知識・技能	6	60.4	64.4	62.0	
	思考・判断・表現	9	56.4	58.6	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	59.6	63.5	61.0	
	短答式	3	63.9	64.6	61.8	
	記述式	3	47.3	49.6	45.5	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



●現状把握

全ての項目において、東京都の平均より下回る結果である。ただし、「学習指導要領 C 読むこと」の項目及び問題形式「短答式」「記述式」では全国平均を上回る数値がある。教科や試験への苦手意識が大きい場合、無回答や記述不成立が一般的だが、取り組みがあることに関して評価ができる。質問紙調査による国語への関心が低いことが関係していると考えられる。

●指導改善のポイント

- ・選択式解答の正答率を上げるため、文章と設問を照らし合わせて正解を見極める力を養う必要がある。言葉の意味や文章の展開を正しくつかむ練習として、語彙や文法獲得の反復練習を行う。
- ・生徒の「短答式」、「記述式」問題への抵抗の低さを大切にしながら、解答方法や文末表現等に注意させ、解答精度を高めていく。